

図解 交通年鑑

(平成23年版)



TOTTORI POLICE

鳥 取 県 警 察 本 部

目 次

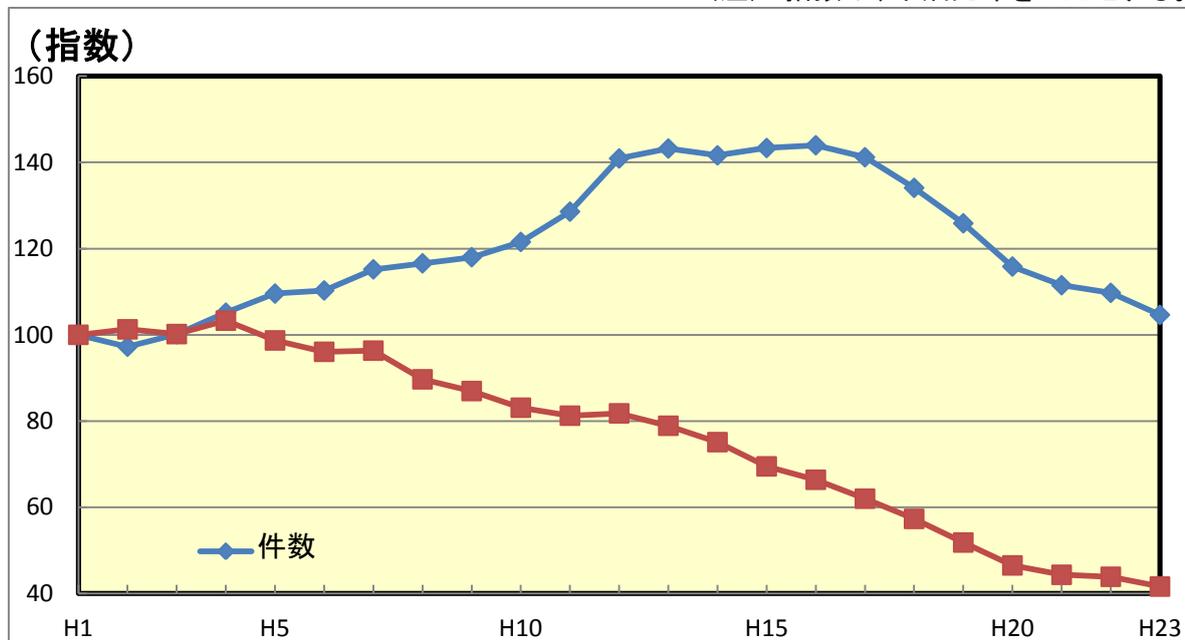
1	全国の交通事故	1
	(1) 全国の交通事故の推移	1
	(2) 都道府県別交通事故死者数	2
2	鳥取県の交通事故	3
	(1) 鳥取県の交通事故の推移	3
	(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率	4
	(3) 月別発生状況	5
	(4) 曜日別発生状況	5
	(5) 時間別・昼夜別発生状況	6
	(6) 道路別発生状況	7
	(7) 事故類型別発生状況	7
	(8) 年齢層別死傷者数	8
	(9) 状態別死傷者数	8
3	子供の交通事故	9
	(1) 子供の交通事故の推移	9
	(2) 学齢別死傷者数	9
	(3) 状態別死傷者数	10
4	高齢者の交通事故	11
	(1) 高齢者の交通事故の推移	11
	(2) 状態別死傷者数	11
	(3) 男女別死傷者数	12
	(4) 高齢者(第1当)事故件数	12
5	歩行者の交通事故	13
	(1) 歩行者の交通事故の推移	13
	(2) 年齢層別死傷者数	13
	(3) 事故類型別死傷者数	14
	(4) 歩行者の違反別死傷者数	14
6	自転車の交通事故	15
	(1) 自転車の交通事故の推移	15
	(2) 年齢層別死傷者数	15
	(3) 事故類型別死傷者数	16
	(4) 自転車の違反別死傷者数	16
7	二輪車(自動二輪・原付)の交通事故	17
	(1) 二輪車の交通事故の推移	17
	(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)	17
	(3) 事故類型別死傷者数	18
	(4) 二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
	(1) 年齢層別・状態別死者数	19
	(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
	(3) 第1当事者の状態別・違反別件数	20
	(4) 路線別・道路形状別件数	20

1 全国の交通事故

(1) 全国の交通事故の推移

全国の死者数は11年連続で減少し、発生件数及び負傷者数も7年連続で減少し、発生件数は平成4年以来19年振りに70万件以下となった。

(注) 指数は、平成元年を100とする。



区分 年別	件数	死者数	負傷者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和45年	718,080	16,765	981,096	平成3年	662,388	11,105	810,245
46	700,290	16,278	949,689	4	695,345	11,451	844,003
47	659,283	15,918	889,198	5	724,675	10,942	878,633
48	586,713	14,574	789,948	6	729,457	10,649	881,723
49	490,452	11,432	651,420	7	761,789	10,679	922,677
50	472,938	10,792	622,467	8	771,084	9,942	942,203
51	471,041	9,734	613,957	9	780,399	9,640	958,925
52	460,649	8,945	593,211	10	803,878	9,211	990,675
53	464,037	8,783	594,116	11	850,363	9,006	1,050,397
54	471,573	8,466	596,282	12	931,934	9,066	1,155,697
55	476,677	8,760	598,719	13	947,169	8,747	1,180,955
56	485,578	8,719	607,346	14	936,721	8,326	1,167,855
57	502,261	9,073	626,192	15	947,993	7,702	1,181,431
58	526,362	9,520	654,822	16	952,191	7,358	1,183,120
59	518,642	9,262	644,321	17	933,828	6,871	1,156,633
60	552,788	9,261	681,346	18	886,864	6,352	1,098,199
61	579,190	9,317	712,330	19	832,454	5,744	1,034,445
62	590,723	9,347	722,179	20	766,147	5,155	945,504
63	614,481	10,344	752,845	21	737,474	4,914	911,108
平成元年	661,363	11,086	814,832	22	725,773	4,863	896,208
2	643,097	11,227	790,295	23	691,937	4,612	854,493

(2)都道府県別交通事故死者数

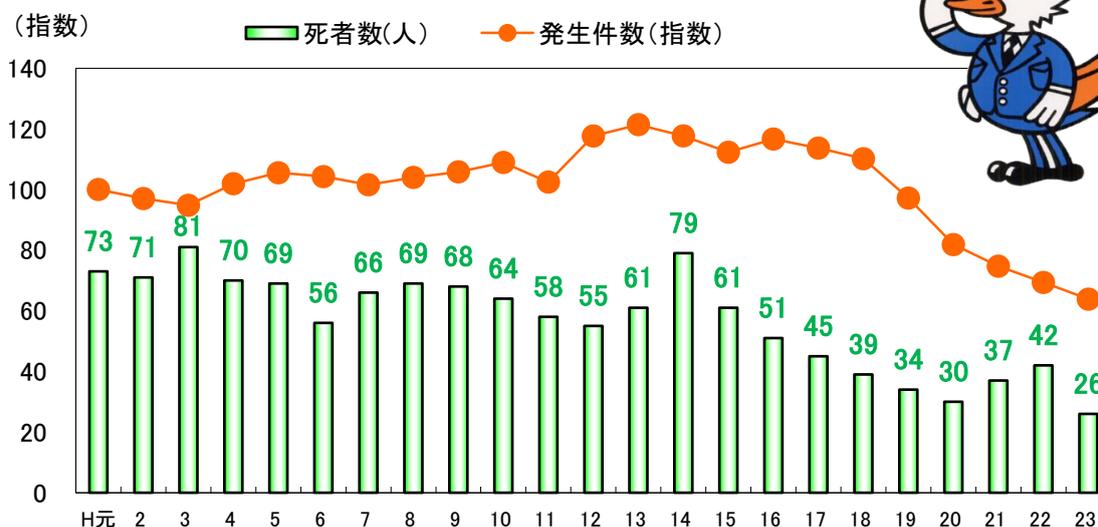
都道府県	死者数	人口 当り	車両台数 当り	免許人口 当り	道路実延長 当り	走行台* ₀ 当り	
北海道	190	3.451	0.477	0.563	2.118	0.652	
東北	青森	54	3.932	0.483	0.626	2.752	0.709
	岩手	66	4.962	0.576	0.785	1.995	0.767
	宮城	67	2.853	0.377	0.445	2.722	0.628
	秋田	57	5.249	0.619	0.824	2.398	0.763
	山形	50	4.277	0.479	0.642	3.043	0.622
	福島	94	4.633	0.534	0.717	2.413	0.798
東京	215	1.634	0.418	0.286	8.943	1.256	
関東	茨城	169	5.691	0.621	0.828	3.012	1.024
	栃木	111	5.529	0.599	0.798	4.468	0.979
	群馬	97	4.831	0.509	0.690	2.772	0.918
	埼玉	207	2.877	0.469	0.453	4.431	1.244
	千葉	175	2.815	0.447	0.444	4.353	1.046
	神奈川	180	1.989	0.384	0.326	7.124	1.272
	新潟	133	5.601	0.641	0.842	3.562	0.924
	山梨	39	4.519	0.465	0.655	3.513	0.872
	長野	115	5.343	0.552	0.775	2.403	0.987
	静岡	164	4.356	0.515	0.640	4.499	1.084
中部	富山	50	4.574	0.528	0.672	3.644	0.779
	石川	44	3.761	0.472	0.574	3.371	0.689
	福井	61	7.565	0.871	1.131	5.673	1.191
	岐阜	102	4.902	0.576	0.721	3.345	0.838
	愛知	225	3.036	0.417	0.455	4.521	0.904
近畿	三重	95	5.122	0.571	0.754	3.817	0.875
	滋賀	85	6.025	0.746	0.904	6.930	1.209
	京都	103	3.907	0.604	0.649	6.730	1.281
	大阪	197	2.222	0.434	0.390	10.259	1.164
	兵庫	198	3.543	0.560	0.574	5.482	1.072
	奈良	47	3.355	0.469	0.518	3.747	0.910
中国	和歌山	54	5.388	0.574	0.787	4.048	1.030
	鳥取	26	4.417	0.516	0.676	2.978	0.588
	島根	31	4.321	0.510	0.668	1.711	0.600
	岡山	106	5.449	0.616	0.822	3.317	1.016
	広島	113	3.950	0.512	0.611	3.950	0.943
四国	山口	74	5.099	0.621	0.790	4.500	0.831
	徳島	49	6.238	0.708	0.920	3.256	0.986
	香川	76	7.632	0.847	1.119	7.430	1.392
	愛媛	91	6.357	0.743	0.969	5.043	1.262
	高知	46	6.017	0.677	0.926	3.335	0.968
九州	福岡	157	3.095	0.434	0.489	4.234	0.888
	佐賀	49	5.766	0.660	0.867	4.559	0.900
	長崎	47	3.294	0.430	0.545	2.623	0.699
	熊本	86	4.732	0.557	0.722	3.350	0.920
	大分	45	3.761	0.436	0.576	2.482	0.598
	宮崎	49	4.316	0.472	0.638	2.459	0.717
	鹿児島	78	4.571	0.504	0.691	2.897	0.816
	沖縄	45	3.231	0.394	0.505	5.642	0.803
合計	4,612	3.602	0.511	0.568	3.818	0.940	

- 注1 「人口当り」は10万人当りの死者数で、算出の基礎となった人口は総務省の平成22年10月1日現在の確定人口である。
- 2 「車両台数当り」は1万台当りの死者数で、算出の基礎となった車両台数は平成23年10月末現在の国土交通省資料による。
- 3 車両台数に含まれている「原付台数」「小特」(ミニカーを含む。)は平成22年4月1日現在の総務省資料による。
- 4 「免許人口当り」は1万人当りの死者数で、算出の基礎となった免許人口は平成23年12月末現在である。
- 5 「道路延長当り」は1000km当りの死者数で、算出の基礎となった道路延長は平成21年4月1日現在国土交通省資料による。
- 6 「走行台*₀当り」は1億走行台*₀当りの死者数で、平成17年道路交通センサスによる路線(一般道路計)の走行台*₀から算出。

2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

死者数は、3年振りに減少し昭和28年以来58年振りに「20人台」となった。
 発生件数、負傷者数とも7年連続して減少した。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分 年別	死者数	区分 年別	死者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和24年	9	昭和45年	117	平成3年	2,477	81	2,980
25	18	46	134	4	2,663	70	3,123
26	24	47	120	5	2,757	69	3,175
27	31	48	109	6	2,724	56	3,070
28	21	49	72	7	2,654	66	2,970
29	32	50	89	8	2,717	69	3,103
30	38	51	90	9	2,765	68	3,075
31	42	52	61	10	2,846	64	3,217
32	34	53	54	11	2,677	58	3,413
33	45	54	52	12	3,074	55	3,943
34	60	55	61	13	3,172	61	4,152
35	38	56	57	14	3,075	79	4,051
36	63	57	71	15	2,934	61	3,772
37	49	58	69	16	3,048	51	3,992
38	55	59	61	17	2,970	45	3,905
39	50	60	60	18	2,878	39	3,698
40	85	61	58	19	2,539	34	3,236
41	87	62	53	20	2,138	30	2,733
42	104	63	50	21	1,952	37	2,439
43	106	平成元年	73	22	1,812	42	2,273
44	112	2	71	23	1,668	26	2,076

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第一当居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	37	30.1	1	0.8	53	43.2	12,272	40	32.6
鳥取市	624	31.7	5	0.3	779	39.6	196,752	526	26.7
八頭町	32	17.7	2	1.1	32	17.7	18,073	51	28.2
若桜町	6	15.9		0.0	10	26.6	3,766	9	23.9
智頭町	8	10.5	1	1.3	9	11.8	7,597	21	27.6
湯梨浜町	42	24.7		0.0	59	34.7	16,991	48	28.3
三朝町	11	15.9	1	1.4	12	17.3	6,918	11	15.9
倉吉市	126	25.0	3	0.6	149	29.6	50,301	114	22.7
北栄町	49	32.1	3	2.0	59	38.6	15,267	36	23.6
琴浦町	33	18.1	1	0.5	48	26.3	18,256	27	14.8
大山町	41	23.7		0.0	62	35.8	17,296	33	19.1
日吉津村	13	38.1	1	2.9	16	46.8	3,416	11	32.2
米子市	513	34.6	6	0.4	610	41.2	148,226	374	25.2
南部町	8	7.0		0.0	11	9.6	11,455	21	18.3
境港市	85	24.2	2	0.6	111	31.6	35,140	106	30.2
伯耆町	24	20.9		0.0	30	26.1	11,506	24	20.9
江府町	11	33.3		0.0	20	60.6	3,303	6	18.2
日野町	2	5.5		0.0	2	5.5	3,658	8	21.9
日南町	3	5.7		0.0	4	7.6	5,282	2	3.8
合計	1,668	28.5	26	0.4	2,076	35.5	585,475	1,468	25.1

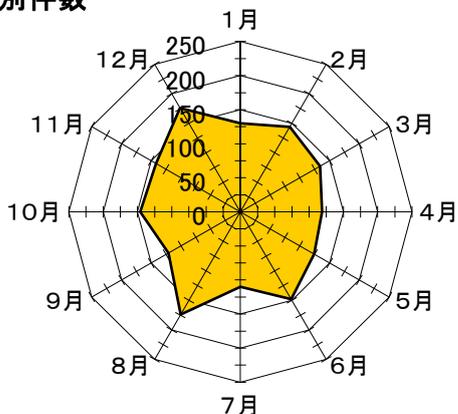
* 平成23年10月1日現在の推計人口

県外者	184
不明	16
総計	1,668

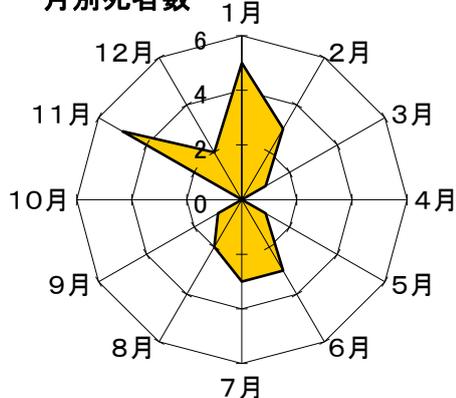
(3) 月別発生状況

発生件数は、12月、8月の順に多く発生した。また、7月は最も少なく110件であった。
 死者数は、1月と11月が5人と最多であり、4月と10月は0人であった。

月別件数



月別死者数

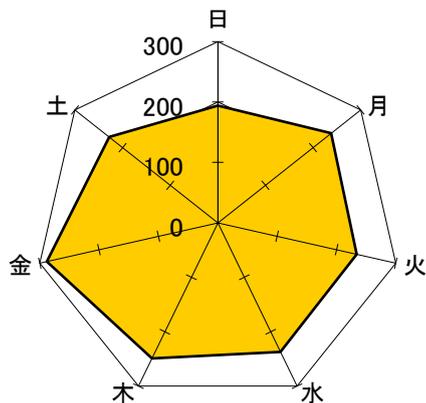


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	130	144	134	119	124	148	110	174	121	146	142	176	1,668
死者数	5	3	1	0	1	3	3	2	1	0	5	2	26
負傷者数	154	184	163	144	158	189	131	215	158	185	176	219	2,076

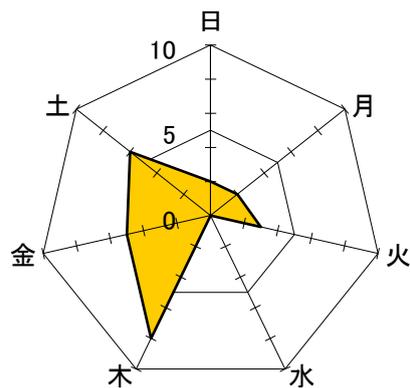
(4) 曜日別発生状況

発生件数は、金曜日が288件と最も多く、日曜日が194件で最も少ない。
 死者数は、木曜日が8人で最も多く、水曜日は0人であった。

曜日別件数



曜日別死者数

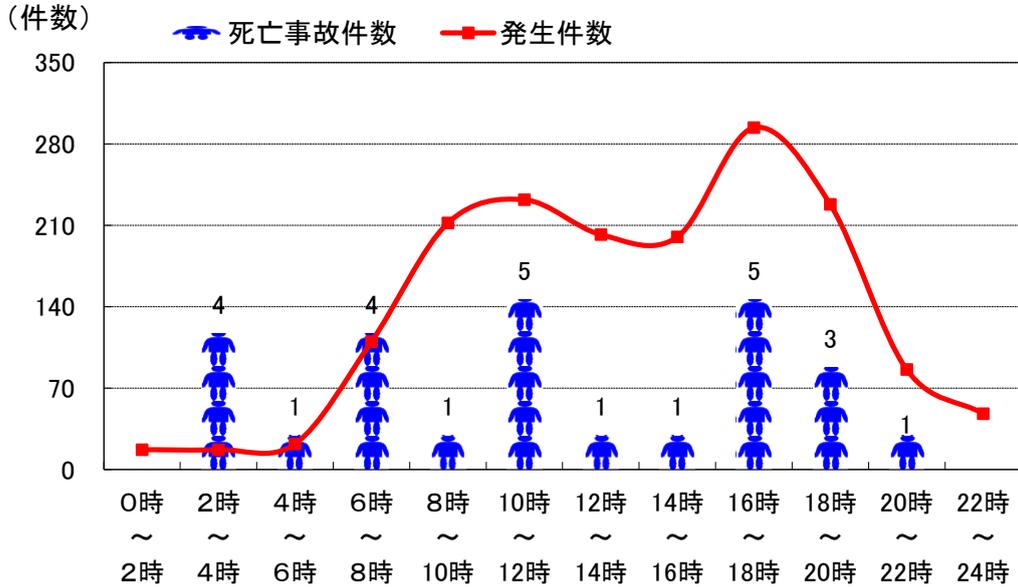


	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	194	238	234	237	249	288	228	1,668
死者数	2	2	3	0	8	5	6	26
負傷者数	258	299	280	282	303	357	297	2,076

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

発生件数は、午前6時ころから増え始め、薄暮時間帯に最も多く発生している。
死亡事故は、午前10時から午後0時、午後4時から午後6時台の発生が多い。

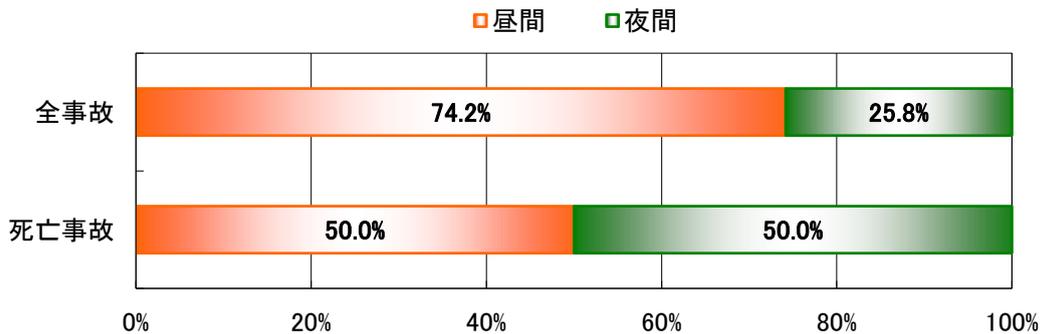


発生時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	合計
発生件数	17	17	22	110	212	232	202	200	294	228	86	48	1,668
死亡事故件数		4	1	4	1	5	1	1	5	3	1		26

イ 昼夜別

全事故の74.2%が昼間に発生している。

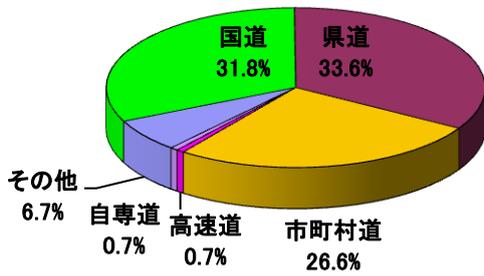
死亡事故は、昼間と夜間の割合が半々であった。



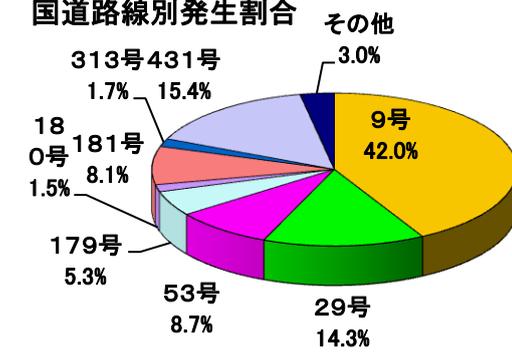
	昼間	夜間	合計
全事故件数	1,237	431	1,668
死亡事故件数	13	13	26

(6) 道路別発生状況

道路別発生割合



国道路線別発生割合

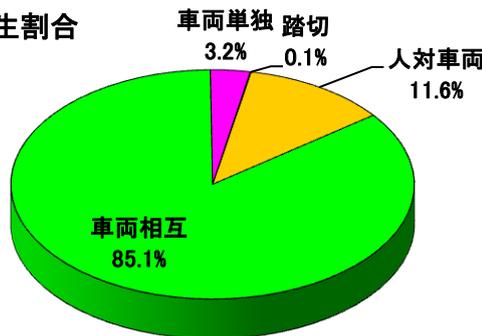


	国 道									計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他	
件数	223	76	46	28	8	43	9	82	16	531

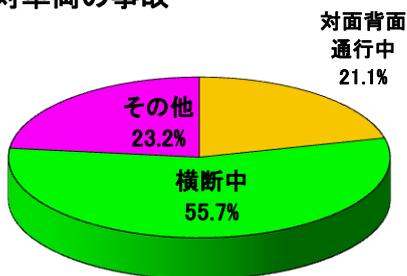
	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
件数	11	11	216	345	561	443	111	1,668

(7) 事故類型別発生状況

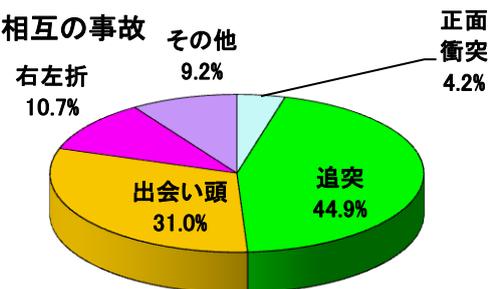
類型別発生割合



人対車両の事故



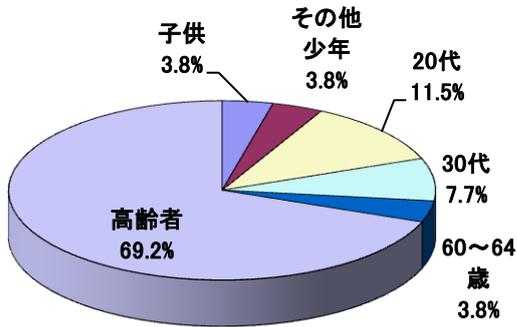
車両相互の事故



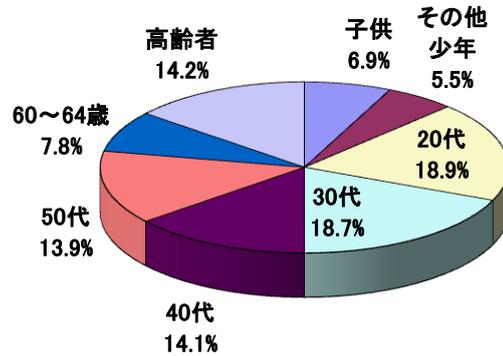
	人 対 車 両			車 両 相 互					車 両 単 独		列車	合計
	対面背面通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	工作物衝突	その他		
件数	41	108	45	59	638	440	152	131	29	24	1	1,668
総数	194			1,420					53		1	1,668

(8) 年齢層別死傷者数

年齢層別死者の割合



年齢層別負傷者の割合

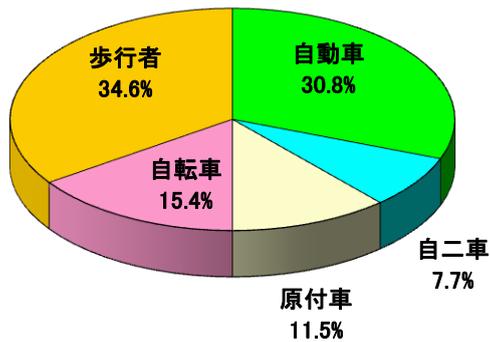


	子供	その他少年	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
死者数	1	1	3	2			1	18	26
負傷者数	143	115	392	388	293	289	162	294	2,076

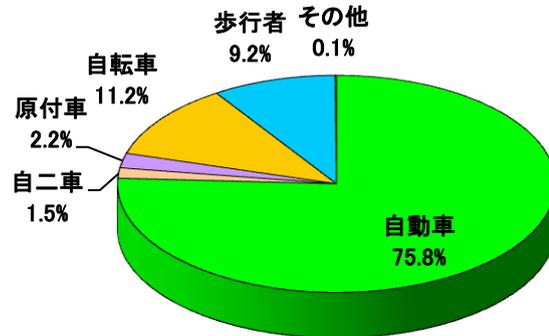
※ 子供は、中学生以下

(9) 状態別死傷者数

状態別死者の割合



状態別負傷者の割合



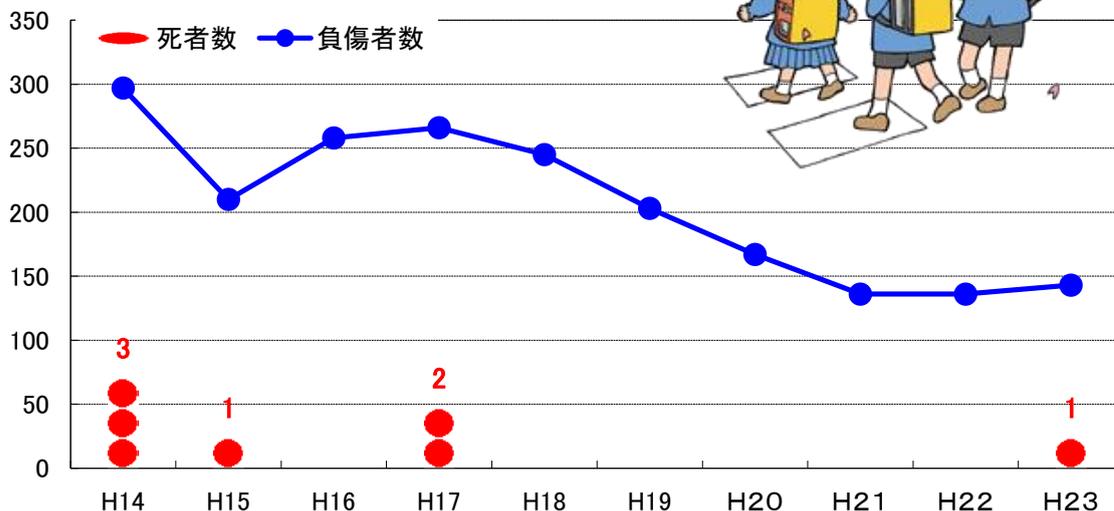
	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	7	1	2		3		4		9		26
負傷者数	1,172	402	31	1	43	2	230	3	190	2	2,076

3 子供の交通事故

(1) 子供の交通事故の推移

平成18年以降減少傾向で推移していた負傷者数が、増加に転じた
平成17年以来6年振りに子供が死亡する事故が発生

負傷者数(人)

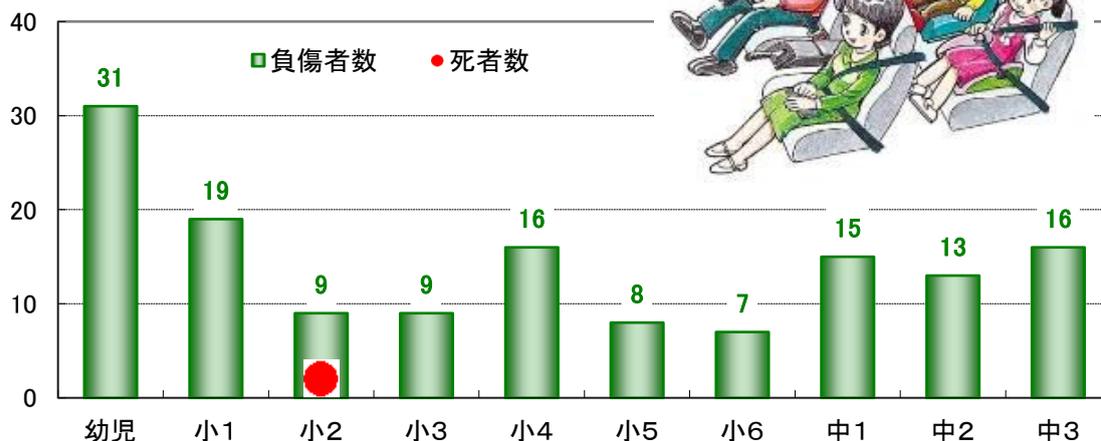


	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
死者数	3	1		2						1
負傷者数	297	210	258	266	245	203	167	136	136	143

(注: 子供は中学生以下)

(2) 学齢別死傷者数

負傷者数(人)



	幼児	小学生						中学生			合計	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年		
死者数				1								1
負傷者数	31	19	9	9	16	8	7	15	13	16		143

(3) 状態別死傷者数

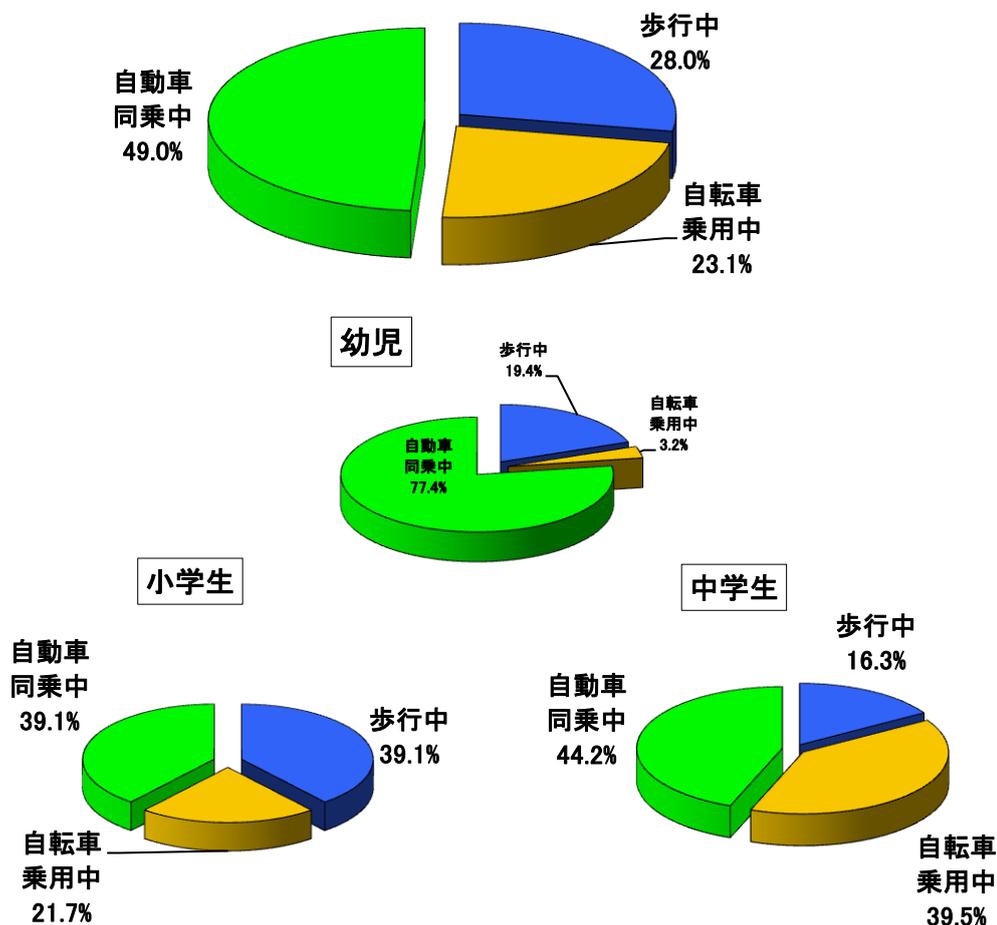
子供の死傷者数を状態別で見ると、自動車同乗中が全体の49.0%で最も多い。

学齢別で見ると、幼児は、自動車同乗中が77.4%を占めている。

小学生は、自動車同乗中、歩行中がそれぞれ39.1%を占める。

中学生は、自動車同乗中が全体の44.2%を占め最も多い。

状態別死傷者の割合



		歩行者	自転車		自動車		二輪車		合計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中	
死者数	幼児								
	小学1~3	1							1
	小学4~6								
	中学生								
	計	1							1
負傷者数	幼児	6		1		24			31
	小学1~3	18	5			14			37
	小学4~6	8	10			13			31
	中学生	7	17			19		1	44
	計	39	32	1		70		1	143

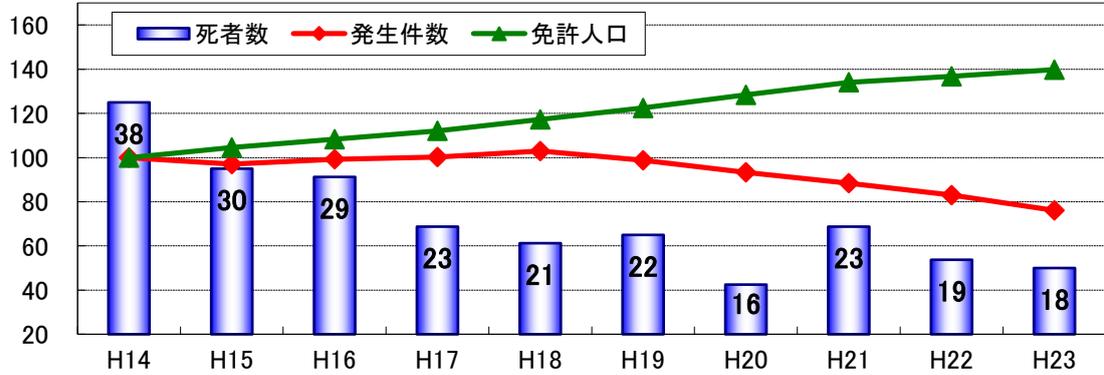
4 高齢者の交通事故

(1) 高齢者の交通事故の推移

高齢者の死者数は、平成22年以降2年連続で減少しているが、全死者に占める高齢者の割合は69.2%（平成22年は45.2%）と高率

高齢者が第1当事者の事故は、平成19年以降5年連続で減少
 高齢者免許人口は増加傾向で推移し、平成14年の約1.4倍

(指数)



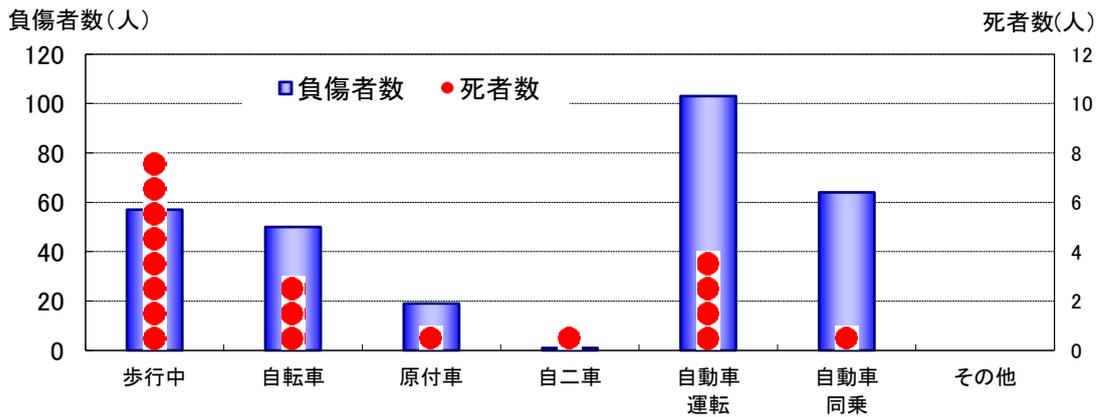
* 発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成14年を100とする。

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
発生件数	406	394	403	407	418	401	379	359	337	309
死者数	38	30	29	23	21	22	16	23	19	18
負傷者数	560	542	542	577	558	510	449	433	370	294
高齢者免許人口	49,864	52,159	54,022	55,917	58,491	61,063	64,029	66,881	68,218	69,711

(2) 状態別死傷者数

高齢者の状態別死者数は、歩行中が8人で、高齢死者の44.4%を占めている。

負傷者は、自動車運転中が最も多く35.0%を占めている。

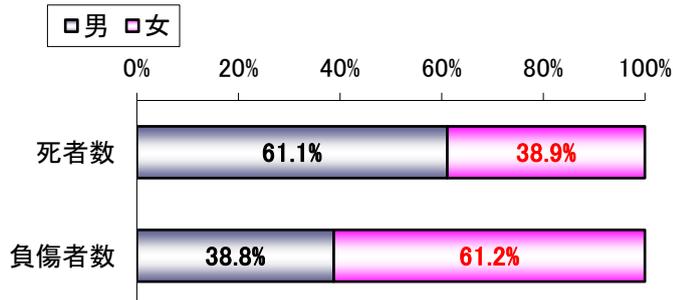


	歩行中	自転車乗車中	原付乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	8	3	1	1	4	1		18
構成率	44.4%	16.7%	5.6%	5.6%	22.2%	5.6%		100%
負傷者数	57	50	19	1	103	64		294
構成率	19.4%	17.0%	6.5%	0.3%	35.0%	21.8%		100%

(3) 男女別死傷者数

男女別では、死者は男性、負傷者は女性が多い。

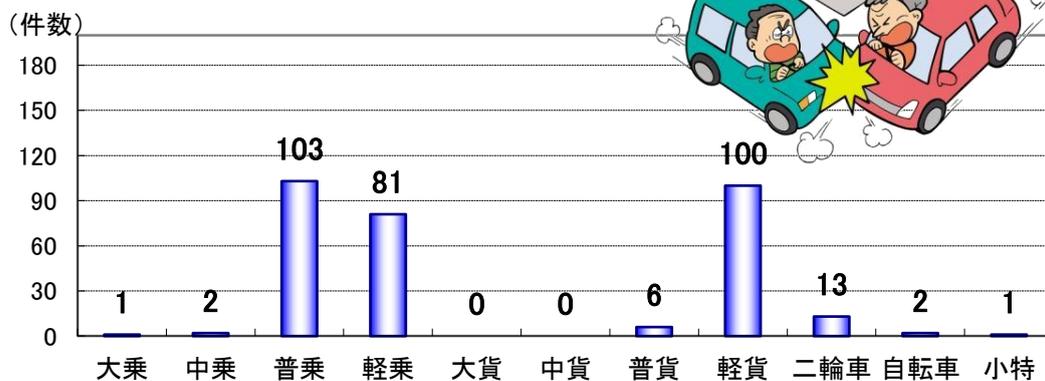
	死者数	負傷者数
男	11	114
構成率	61.1%	38.8%
女	7	180
構成率	38.9%	61.2%
合計	18	294



(4) 高齢者(第1当)事故件数

高齢者が第1当事者事故の車種別では、普通乗用自動車が多くなり、次いで軽四輪貨物自動車、軽四輪乗用自動車の順となっている。

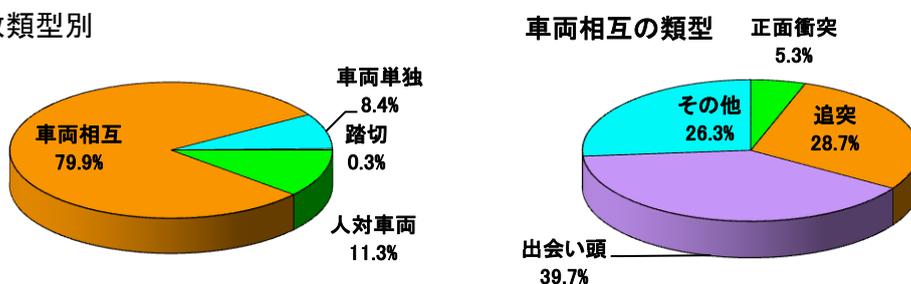
事故類型別では、出会い頭、追突の順に多い。



ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	普通貨物	軽四貨物	自二車(含原付)	自転車	小特	合計
発生件数	1	2	103	81			6	100	13	2	1	309
男	1	2	81	53			5	82	5	1	1	231
女			22	28			1	18	8	1		78

イ 事故類型別

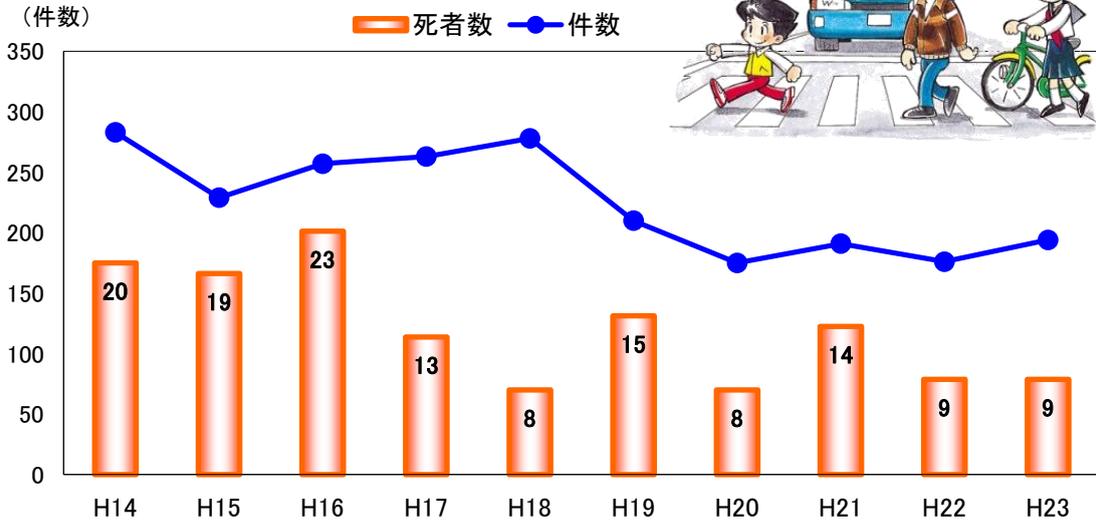


	人対車両		車両相互				単独	踏切	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	その他			
発生件数	24	11	13	71	98	65	26	1	309

5 歩行者の交通事故

(1) 歩行者の交通事故の推移

前年に比べ件数、負傷者数とも増加した。

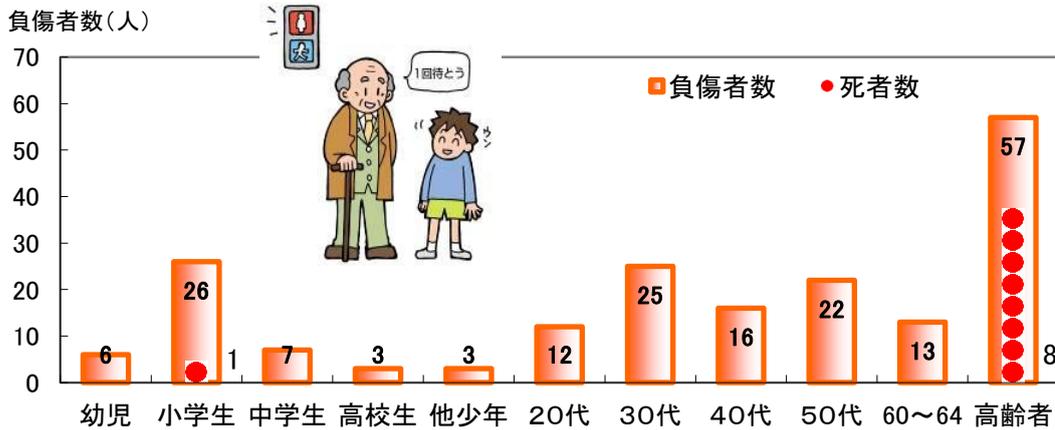


	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
発生件数	283	229	257	263	278	210	175	191	176	194
死者数	20	19	23	13	8	15	8	14	9	9
負傷者数	280	221	249	250	276	196	174	182	173	190

発生件数: 歩行者事故の件数

(2) 年齢層別死傷者数

死者・負傷者とも高齢者が多い。



	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	計
件数	6	27	7	3	3	12	25	16	22	13	65	199
死者数		1									8	9
負傷者数	6	26	7	3	3	12	25	16	22	13	57	190

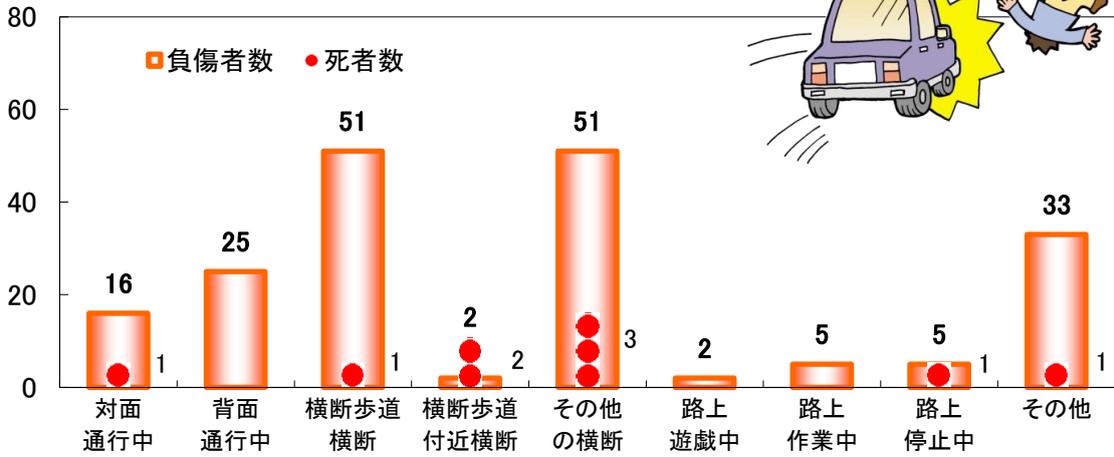
件数: 歩行者事故の当事者数

* 1件の事故で、複数の歩行者が関わったものが5件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

発生件数、死者、負傷者とも横断歩道及びその付近以外の道路を横断中の事故が多い。

負傷者数(人)



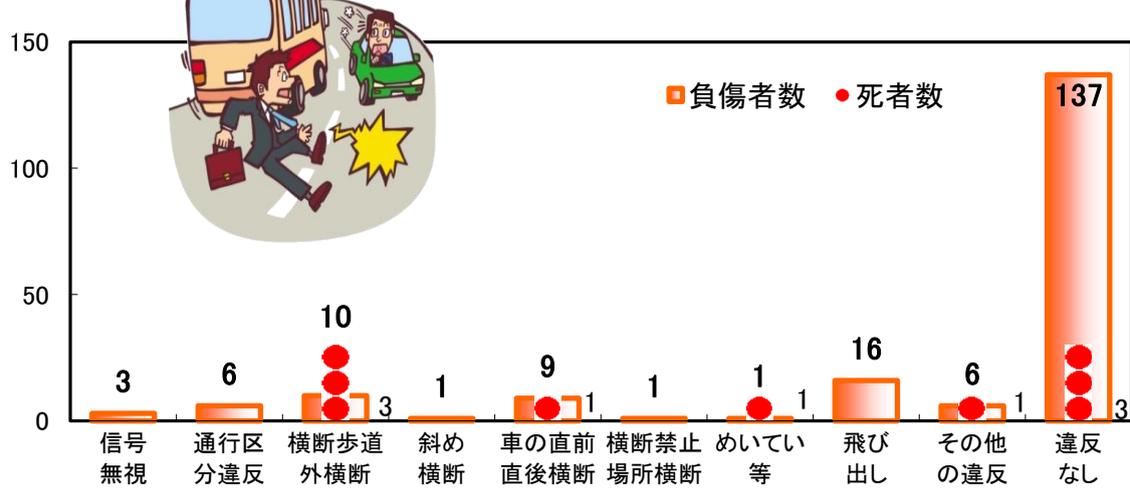
	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯中	路上作業中	路上停止中	その他	合計
発生件数	17	24	51	4	53	2	4	6	33	194
死者数	1		1	2	3			1	1	9
負傷者数	16	25	51	2	51	2	5	5	33	190

発生件数: 歩行者事故の件数

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者の約3割に何らかの交通違反があった。

負傷者数(人)

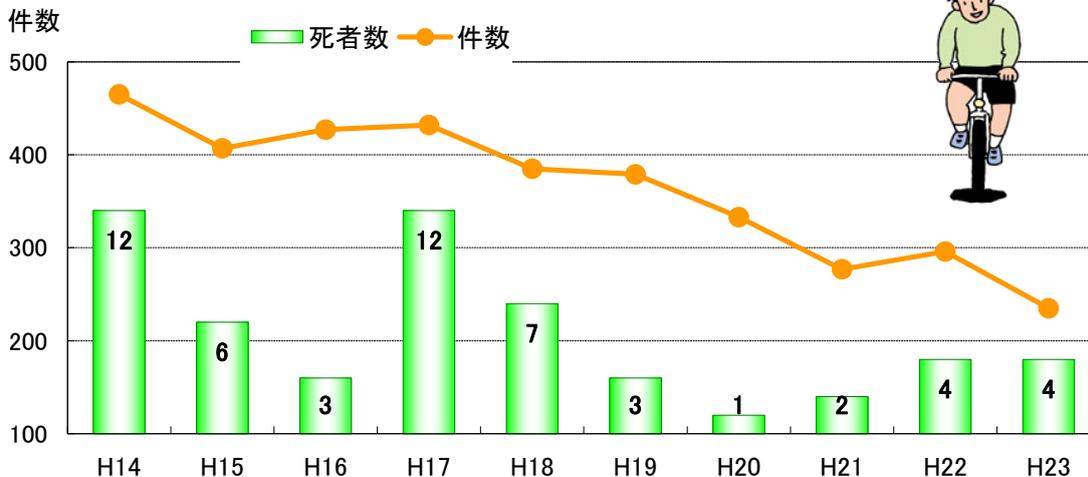


	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	めいてい等	飛び出し	その他の違反	違反なし	合計
死者数			3		1		1		1	3	9
負傷者数	3	6	10	1	9	1	1	16	6	137	190

6 自転車の交通事故

(1) 自転車の交通事故の推移

発生件数、負傷者数は前年から減少したが、死者数は同数であった。

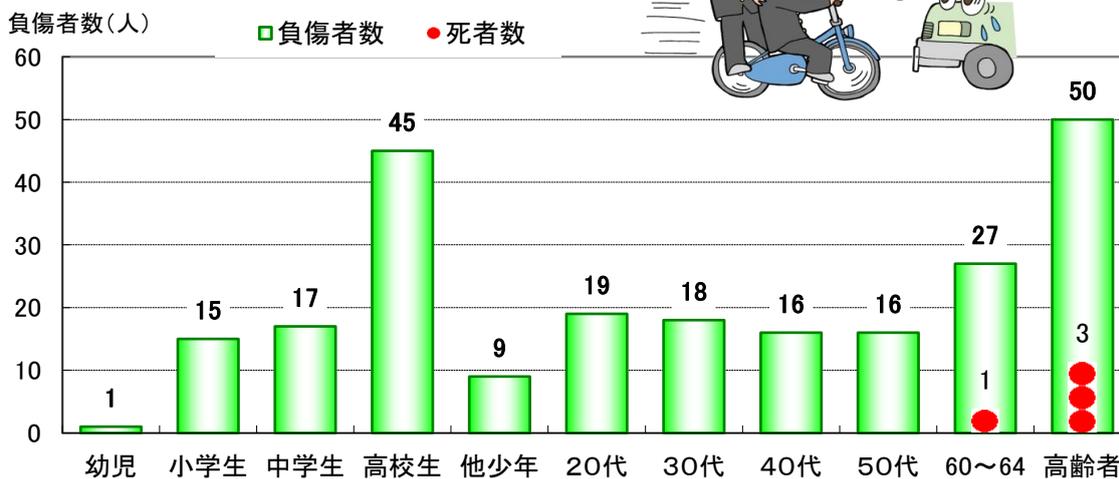


	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
発生件数	465	407	427	432	385	379	333	277	296	235
死者数	12	6	3	12	7	3	1	2	4	4
負傷者数	461	405	430	419	378	371	336	272	291	233

発生件数：自転車事故の件数

(2) 年齢層別死傷者数

年齢層別死傷者は、高齢者と高校生が多い。



	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
件数	1	15	17	46	9	19	18	16	16	28	53	238
死者数										1	3	4
負傷者数	1	15	17	45	9	19	18	16	16	27	50	233

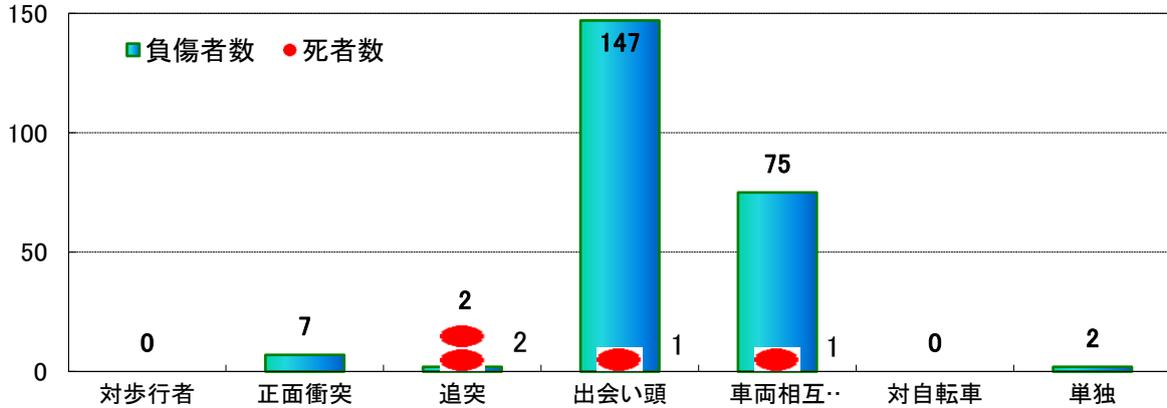
件数：自転車事故の当事者数

* 1件の事故で、複数の自転車が関わったものが3件あり。

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭が最も多く、半数以上を占めている。

負傷者数(人)



	対歩行者	車 両 相 互				対自転車	単独	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	その他				
発生件数	1	6	4	147	75		2	235	
死者数			2	1	1			4	
負傷者数		7	2	147	75		2	233	3

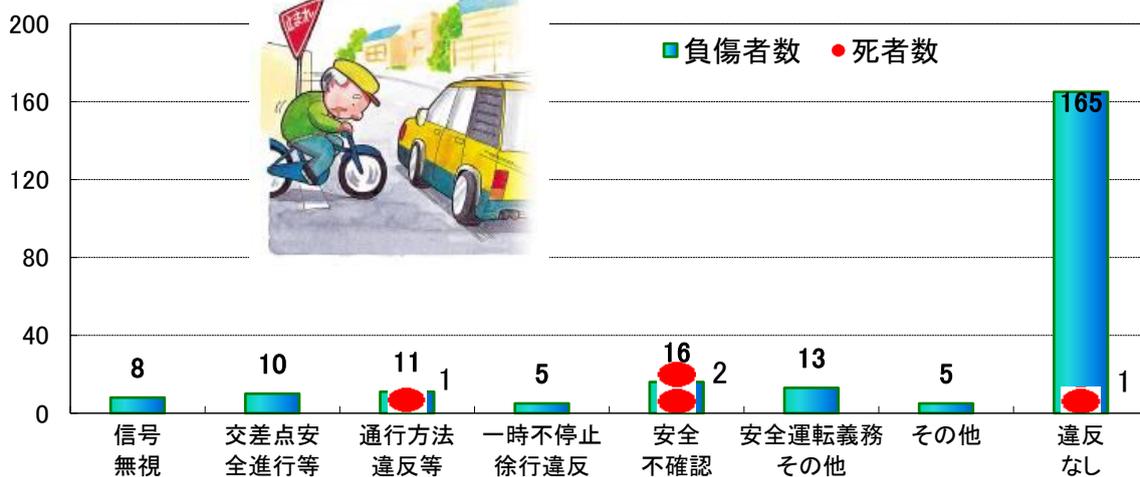
* 発生件数は自転車事故の件数、グラフ中の「対歩行者」は事故類型でいう人対車両

* 対自転車の件数は内数(平成23年中の発生なし)

(4) 自転車の違反別死傷者数

自転車の約3割に違反があり、安全不確認や、交差点での違反が目立つ。

負傷者数(人)

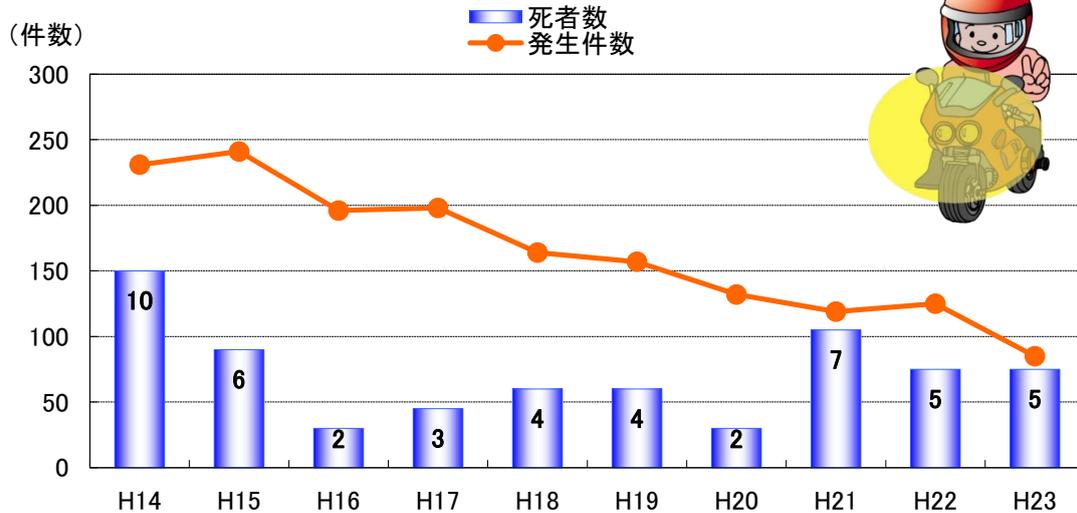


	信号無視	交差点安全進行等	通行方法違反等	一時不停止徐行違反	安全運転義務		その他	計	違反なし	合計
					安全不確認	その他				
死者数			1		2			3	1	4
負傷者数	8	10	11	5	16	13	5	68	165	233

7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

(1) 二輪車の交通事故の推移

二輪車事故件数、負傷者数は前年より減少したが、死者数は同数であった。

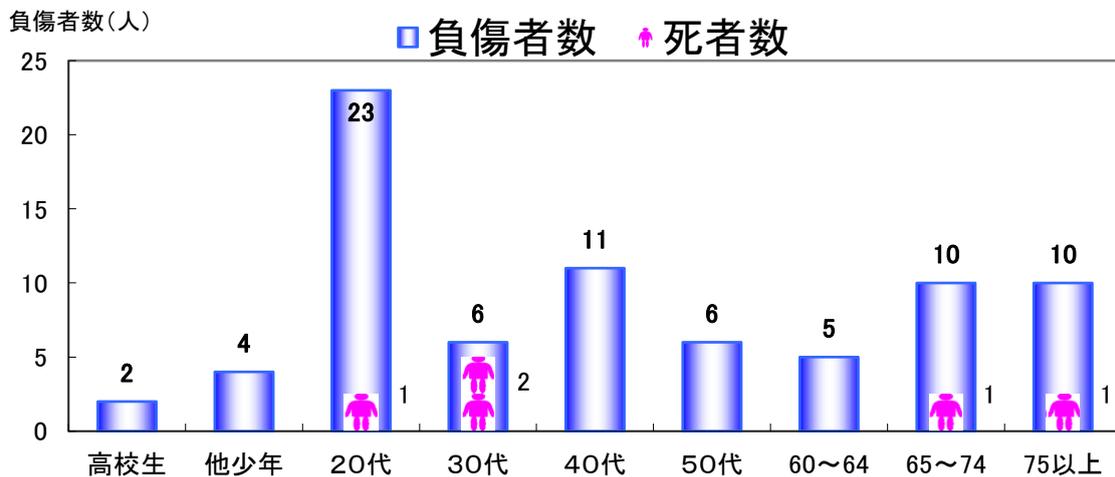


	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
発生件数	231	241	196	198	164	157	132	119	125	85
死者数	10	6	2	3	4	4	2	7	5	5
負傷者数	211	230	184	181	147	150	122	108	118	77

発生件数は二輪車の交通事故件数

(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

件数、死傷者は、20歳代と高齢者が多い。



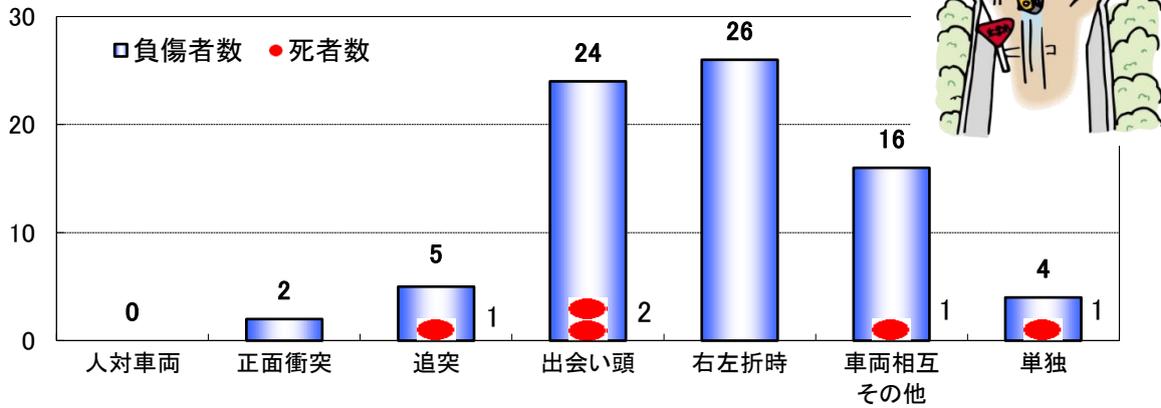
	高校生	その他の少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
件数	3	5	26	9	11	6	5	23	88
死者数	0	0	1	2	0	0	0	2	5
負傷者数	2	4	23	6	11	6	5	20	77

件数: 二輪車事故の当事者数

(3) 事故類型別死傷者数

事故類型別では、出会い頭と右左折時が全体の約半数を占めている。

負傷者数(人)



	人対車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数	3	2	6	26	26	17	5		85	
死者数			1	2		1	1		5	
負傷者数		2	5	24	26	16	4		77	3

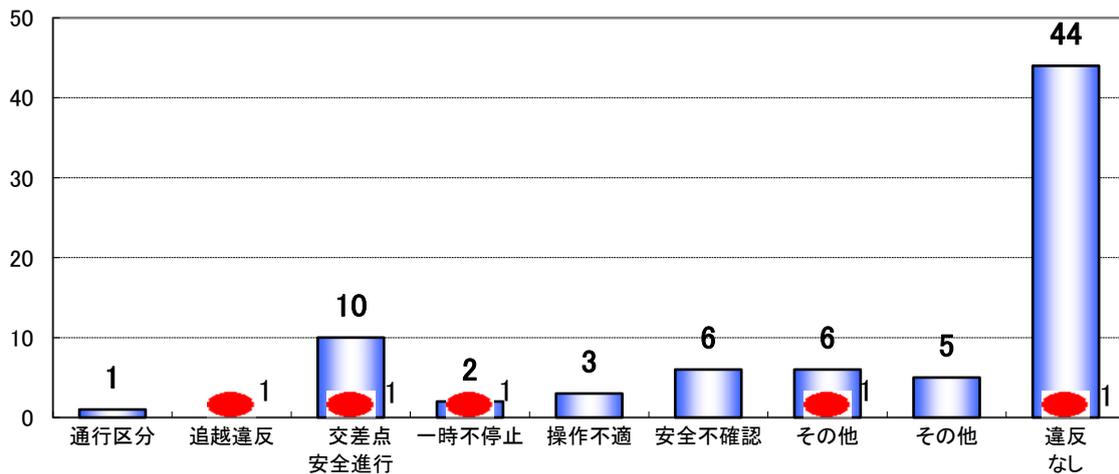
発生件数は二輪車の交通事故件数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

二輪車の違反別では、交差点安全進行義務違反と安全運転義務違反が多い。

負傷者数(人)

□負傷者数 ●死者数



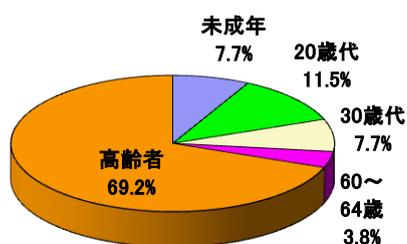
	通行区分	追越違反	交差点安全進行義務	一時不停止徐行違反	安全運転義務			その他	違反なし	合計
					操作不適	安全不確認	その他			
死者数		1	1	1			1	1	5	
負傷者数	1		10	2	3	6	6	5	44	77

8 交通死亡事故発生状況

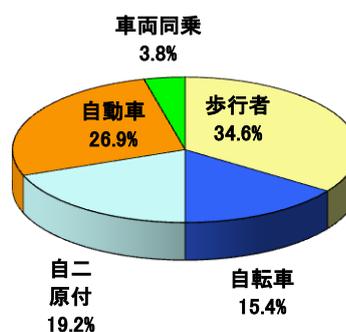
(1) 年齢層別・状態別死者数

死者の年齢層別では、高齢者が18人(69.2%)、次いで20歳代の順となっている。
状態別では、歩行中が9人と最も多く、次いで自動車運転中の順となっている。

年齢層別死者



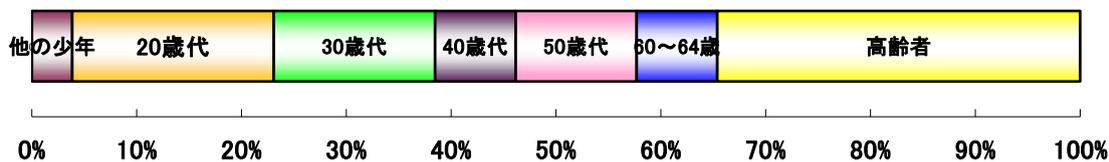
状態別死者



	子供	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	合計
歩行者	1								8	9
自転車								1	3	4
自二・原付				1	2				2	5
自動車			1	2					4	7
車両同乗									1	1
合計	1		1	3	2			1	18	26

(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

死亡事故の第1当事者の年齢別では、高齢者が9件で最も多い。
状態別では、自動車運転中が大半を占める。

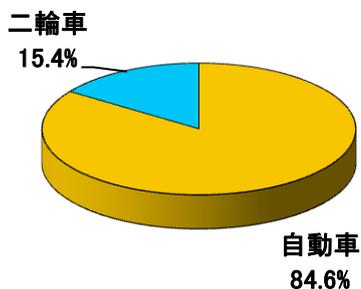


	高校生	他の少年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60~64歳	高齢者	合計
自動車		1	5	2	2	3	2	7	22
自二・原付				2				2	4
自転車									
その他									
合計		1	5	4	2	3	2	9	26

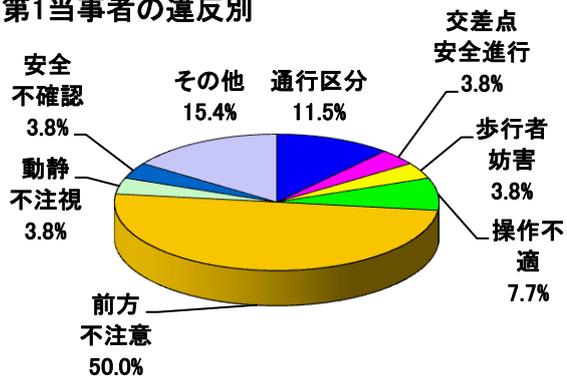
(3) 第1当事者の状態別・違反別件数

違反別では、前方不注意が最も多く、50.0%を占めている。

第1当事者の状態別



第1当事者の違反別



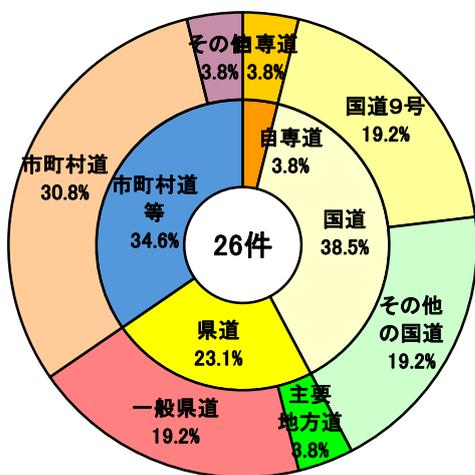
	通行区分	交差点安全進行	歩行者妨害	操作不適	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他	合計
件数	3	1	1	2	13	1	1	4	26

(4) 路線別・道路形状別件数

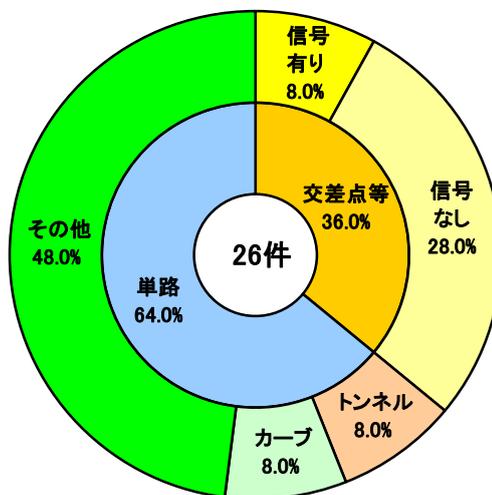
路線別では、国道が38.5%を占め最も多い。

道路形状別では、単路での事故が最も多く64.0%を占めている。

路線別死亡事故



道路形状別死亡事故



	高速道	自専道	国道				県道	市町村道	その他	合計
			9号	29号	53号	その他				
件数		1	5	1	3	1	6	8	1	26

	交差点等			単路				踏切	その他	合計
	信号有り	信号なし	計	トンネル	カーブ	その他	計			
件数	2	7	9	2	2	12	16	1		26

平成23年版
図解交通年鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1-271 TEL 0857-23-0110
